

2024年11月24日
11月第四主日礼拝式



110 輝け主の栄光

愛の光 輝き 暗闇(くらやみ)を照らし出す

わが主イエス 世(よ)の光

自由を与える力 いのちの御言葉

輝け主の栄光 地の上に

心を燃やしたまえ

あふれよ 主の恵み あわれみ

この地を生かしたまえ

「主は御座(みざ)におられる」

(黙示録7:10)

主はみ座におられる 聖なるお方
イエスの愛を受けて 賛美をささげよう

主のりんざいの中で 大いなる勝利を
ほふられた小羊に 心からさげぼう

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

【次】

「主は御座(みざ)におられる」

(黙示録7:10)

主の聖なるみやに 今われらは行こう
聖徒(せいと)らとともに主の
御前(みまえ)であがめよう

主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ
主にハレルヤ ハレルヤ ハレルヤ

新聖歌27番 「来る朝ごとに」

- 1 来る朝ごとに 朝日と共に 神の光を 心に受けて
愛のみむねを 新たに悟る
- 2 来る朝ごとに罪を聖むる 恵みのつゆは天より下り
神の幸(さち)をぞ 新たに添(そ)うる
- 3 来る朝ごとに業と言葉を 聖めわかちて神に献げば
ささぐる宝 いや増したまわん
- 4 来る朝ごとにとるわが努め 人を愛して己に勝たば
神に近づく 道とこそなれ
- 5 来る朝ごとに祈れるごとく 歩み正しくまさみち進み
きよき休みに 入(い)らしめたまえ アーメン

使徒信条(しとしんじょう)

われは天地の造り主、全能の父なる神を信ず。

われはそのひとり子、われらの主、イエス・キリストを信ず。

主は聖霊によりて宿(やど)り、処女(おとめ)マリヤより生まれ、

ポンテオ・ピラトのもとに苦しみを受け、

十字架につけられ、死にて葬られ、陰府(よみ)にくだり、

三日目に死人のうちよりよみがえり、

天に昇り、全能の父なる神の右に座(ざ)したまえり。

かしこより来たりて生ける者と死にたる者とをさばきたまわん。

われは聖霊を信ず。

聖なる公同の教会、聖徒の交わり、

罪の赦し、身体(からだ)のよみがえり、

永遠(とこしえ)のいのちを信ず。

アーメン

新聖歌449番 「父なる御神に」

1 父なる御神(みかみ)に 今 帰らん
この世(よ)をうしろに われ帰らん

* 帰らん 帰らん われ帰らん

神よ 愛の手 伸(の)べたまえ!

2 徒(あだ)に日を過ごし 今 帰らん
涙をもて悔(く)ゆ われ帰らん 【*】

3 汚れに飽(あ)きたり 今 帰らん
み誓(ちか)いたよりて われ帰らん 【*】

4 心は痛めり 今 帰らん

力をたまえや われ帰らん 【*】 アーメン

主の祈り

天にまします われらの父よ。

ねがわくは 御名をあげめさせたまえ。

御国(みくに)を来たらせたまえ。

御心(みこころ)の天になるごとく、地にもなさせたまえ。

われらのにちようの糧(かて)を今日も与えたまえ。

われらに罪をおかす者を、われらがゆるすごとく、

われらの罪をもゆるしたまえ。

われらをこころみにあわせず、悪より救いだしたまえ。

国(くに)と力(ちから)と栄え(さかえ)とは、

限りなく 汝(なんじ)のものなればなり。

アーメン

新聖歌63番 父 御子 御霊の

ちち みこ みたまの

おお みかみに

ときわに たえせず

みさかえあれ

みさかえあれ

アーメン